

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	32	学校名	静岡県立清水西高等学校	校長名	山野 良成
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

文化発信の拠点として発展してきた歴史と伝統を誇る普通科高校として、校訓「清く けだかく 美しく」の理念のもと、自立心と社会性を身につけ、高い志を持って行動する、心豊かで地域の未来を創生するグローバルリーダーの育成を目指す。

2 スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
- 自ら課題を設定し、考え学び続ける生徒（探究力） - 道徳性、社会性、協働する力を備え、豊かな人間関係を築くことができる生徒（人間関係構築力） - 地域の素晴らしさを理解し、未来を創生できる生徒（地域貢献力）	- グローバルリーダーの育成 総合探究「ともえタイム」 - 特色あるカリキュラムの構築 1 年次からの特進コース 看護医療進学コース - ボランティア活動の充実	- 学習や諸活動に真剣に取り組んでいる生徒 - 自らの将来や地域のことを考えている生徒 - 郷土を愛し地域の看護・医療に関心のある生徒

3 スクールポリシー具現化の柱（重点目標はゴシック体で記載）

ア 人間力(知力・体力・心力)の向上

授業や部活動・生徒会活動・地域貢献活動等、あらゆる場面で自他を尊重し合い、自らの課題に取り組むことを通して 21 世紀を生き抜く人間力（知力・体力・心力）を育む。

イ グローカルリーダーの育成

総合的な探究の時間「ともえタイム」の様々な学びを通して、探究力を身につけ、自己有用感を高め、共生社会を生きる、思いやりと社会性のある人間を育てる。

ウ 教員相互及び地域との連携の強化

地域の諸機関・団体・コンソーシアム等と連携を図り、教職員と生徒が一体となり教育活動を推進する。

エ 教育環境整備の推進

学習環境の整備・充実に努めるとともに、安全・安心な施設の整備を目指す。

オ 各分掌による業務改善の推進

教職員のワークライフバランスを推進し、業務における ICT 活用等の働き方改革に努める。

4 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知力の向上	- 指導と評価の一体化を目指した授業改善の実施 生徒の実態把握により、現在の学習状況や課題を見出す。 指導目標の実現を目指し、生徒の観察・評価を行い指導に生かす。 教師と生徒が学習を整理し成果を確認する。 - 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に資する ICT 活用 - 生徒の主体性を促す家庭学習指導	生徒の授業アンケート項目 70%以上 - 生徒の反応を見ながら授業を進め適切な指導をしている。 - 目標と評価規準を理解している。 - 授業内容を理解している。 - 授業を受けて満足している。 - 授業に応じて、生徒が個人端末を活用している。 - 週末課題により、予習や復習を行っている。	教務課 進路課 各教科 部活動

ア		・ベネッセ総合学力テスト・模試・スタディサポートなどの測定ツールを活用し指導改善に努める。 ・資格取得を奨励する。	・測定ツールの結果を検証し、指導改善に取り組んだ教員 80%以上 ・英検受験 50 人、料理検定等受験 20 人、漢字検定受験 30 人	
	体力の向上	・体育の授業と運動部活動では、基礎体力の保持増進を図り、新体力テストの成績向上と運動に対する意識の向上を目指す。	・1、2 年生新体力テスト記録の伸び率 50%以上（春から秋） ・新体力テスト記録会総合評価平均点（R6 男子 4.131 女子 3.946）の向上 ・体育やスポーツ及び心身の健康に関する意識の向上を実感する割合 80%以上	保健体育科 部活動
	心力の向上	・芸術の授業、文化部活動及び芸術鑑賞等文化的行事を通して、豊かな感性を育み、自己表現力や創造力を伸長させる。	・芸術における生徒の授業アンケート 授業への満足度 70%以上 ・生徒アンケート 芸術鑑賞の満足度 85%以上	教務課 芸術科
		・朝読書、ビブリオバトル、読書会、「耳をすませば」、図書委員による推薦本紹介等の読書推進行事を通して、読書習慣を身につける。	・読書記録を取り、推薦本を選びビブリオバトルで発表する。 ・2 か月に 1 冊以上の本やデジタル本等の読書記録をする。	進路課 (図書)
		・清掃活動（全員清掃、ワックスがけ）を通して主体的に清掃し、教育環境整備に取り組む姿勢と習慣を育成する。 ・生徒自ら品位と規律ある生活習慣（身装・挨拶・言葉遣い・時間厳守など）の確立を目指し、学期毎に「カジュアルデー」（私服登校）を設定し、TPO や制服の意義を考えさせる。 ・交通安全教室・防災訓練・薬学講座の振り返りにより、自らの命を守るとともに、生命の大切さを育む指導をする。 ・隔月発行の「保健だより」を通して、健康的な生活に対する意識を啓蒙する。	・委員会を中心とした学校全体の取組を実施し、清掃習慣が身についた生徒 70%以上を目指す。 ・生徒アンケートにより、生活習慣が確立した生徒が学期毎に増加する。 ・自分事として捉え、個人端末の振り返りシートに保存し、振り返りをする。 ・調査により、朝食摂取率 97%以上 治療率 80%以上	生徒課
	グローバルリーダーの育成	・総合的な探究の時間「ともえタイム」、特別活動の充実を図り、探究力を身につける。 ・保育体験やボランティア活動（はな金ボランティア、一部活動一地域貢献等）を通して、自己有用感を高め、思いやりの心やコミュニケーション力を育み地域との繋がりを深める。 ・生徒会活動・委員会活動を一層活性化して、責任感や生徒の自治意識を高める。	・学期の生徒アンケートにより、課題発見力、情報収集力、身につけた知識及び技能を活用する力、課題解決力が向上した生徒 80% ・学期の生徒アンケートにより、自己有用感、思いやりの心、コミュニケーション力が高まった生徒 70% ・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」90%以上 ・生徒意見に対する検討率 100%	全分掌 全教科 各部活動

ウ	教職員相互及び地域との連携の強化	・学校運営協議会を通して、地域、家庭、企業、行政、関係団体等からの学校運営に対する支援の充実を図る。 ・学校案内や学校紹介動画の工夫、一日体験入学や学校公開、文化祭等の学校行事、HP や X (Twitter) 等を活用した情報発信により中学生及び保護者へ魅力を発信する。 ・PTA 会員の X(Twitter)、Instagram 登録及びきずなメール等の活用により、教育活動の情報共有を図る。 ・職員の研修や宣誓書作成、人権感覚チェックシート等を活用し、不祥事の根絶を図る。	・文化祭、探究活動、探究発表会において、委員から生徒への指導助言をいただく機会とする。 ・文化祭での学校説明会、一日体験入学、オープンスクールの参加者数が前年度以上 ・アンケートにより、学校が情報提供を適切に行っていると回答する保護者 70%以上 ・不祥事根絶及び体罰 0	管理職 全職員
エ	教育環境整備の推進	・安全・安心を確保するために施設・設備の維持管理及び充実に努める。 ・学校生活サポートシート、「スタディサポート」、「教育相談だより」、「自己診断シート」等の有効活用と教育相談体制の充実により、関係者及び教職員間の情報交換と連携を密にし、早めの支援体制を整える。	・学期毎に実施する施設設備点検の不具合改善率 100% ・困り感を持つ生徒、支援を必要とする生徒への適切な対応により、欠課不良の生徒に対するチーム支援をする。	生徒課
		・学校経営予算を効果的に執行し、教育環境の整備と教育活動の充実を図る。 ・学校施設の定期点検を確実に実施する。 ・法令基準に沿った事務処理を行い、執務環境の整備と充実を図る。	・予算執行状況を毎月確認し、定期的に予算編成の見直しを行う。 ・安全・安心な施設の整備のために、法定点検での不備指摘前年比 10%減 ・検査における文書指示事項なし	事務部
オ	ワークライフバランスの推進	・業務における ICT 活用や見直しによる効率化を図る。 ・時間外勤務等が多い職員との管理職面談により業務量のバランス等改善を図る。 ・完全退庁時間(20 時 15 分)の徹底 ・夏季休暇の取得促進を図る。	・1 分掌 1 業務改善の実施 ・勤務時間管理システム毎月の集計後、対象者に実施する。 ・退庁時間遵守の職員 80%以上 ・休暇取得率 100%	全職員 各分掌